

最終決戦は続いている

制裁と国際連携で全員救出実現を！国民大集会

すべての拉致被害者をすぐに返せ！

平成28年4月9日(土)

午後7時～9時 文京シビック大ホール

今年1月の北朝鮮による核実験、2月のミサイル発射に対し、国際社会は北朝鮮に厳しい制裁で対応しようとしています。そういう中、家族会・救う会は2月21日の合同会議で「最終決戦は続いている、制裁と国際連携で全員救出実現を！」との今年の運動方針を決めました。

北朝鮮は昨年4月2日、日朝協議を打ち切ると揺さぶりをかけてきましたが、安倍総理は、翌日の家族との面会の席で、報道陣がいる前で、「拉致問題を解決しなければ北朝鮮がその未来を描いていくことは困難であるということを北朝鮮側にしっかりと認識させる」と述べ、北朝鮮の揺さぶりに対し、毅然としたぶれぬ姿勢を示しました。

さらに北朝鮮は、生きていた被害者を殺して新たな「死亡」の証拠を出そうとしたり、「拉致の調査は終わっている。日本政府が受け取らない」と日本の新聞社や通信社を利用して揺さぶりをかけてきました。

私たちは、生存情報があることを訴え続けました。最近、生存情報をお金に代えようという動きが多数あり、北朝鮮の内部では、「生存情報が漏れているのではないか」と疑心暗鬼になっているそうです。

昨年は水面下で日朝協議が毎月行われましたが、北朝鮮は時間を稼ぐだけで、被害者を帰国させるつもりはなく、帰国を前提とした実質的交渉はまだ行われていません。

そういう中で、国際社会は北朝鮮に大きな圧力をかけるようになりました。国連総会は拉致を含む北朝鮮の人権侵害を2年続けて「人道に対する罪」とし、金正恩の国際刑事裁判所訴追を求める決議をしました。金正恩は、「決議が行われないよう総力を尽くせ」と命令しましたが、失敗しました。

今年の核実験・ミサイル発射で、日米韓は厳しい制裁を決定し、国連安保理事会も厳しい経済制裁を決議しました。政府は我々の要請を入れ、拉致も理由として最大限の制裁を決定しました。北朝鮮は日本の制裁に反発して、「特別調査委員会」を解体しましたが、家族会・救う会は、抗議声明(裏面参照)を出して、「そもそも被害者調査は必要なかった」として、「一喜一憂しない」と主張しました。

私たちは、北朝鮮に対する国際社会の制裁が強まり、被害者救出をめぐる状況は、むしろ以前より有利になったと考えています。北朝鮮が日本を動かすためには被害者全員を返すしかないのです。国際社会の制裁を追い風に、北朝鮮が被害者を帰国させざるを得なくする、最終決戦の時となりました。一日も早く被害者を返せ！それが、家族会・救う会、そして心ある日本人の心の底からの叫びです。

下記の通り国民大集会を開催します。日本から怒りの声をあげましょう。皆様のご参加、ご支援を心よりお願いいたします。

制裁と国際連携で全員救出実現を！ 国民大集会

と き 平成28年4月9日(土) 午後7時から9時まで

開 場 午後6時半(先着順、定員1800人)

ところ 文京シビック大ホール

(文京区春日1-16-21 TEL03-5803-1100)

丸ノ内線・南北線後楽園駅直結、都営三田線・大江戸線春日駅直結

JR中央・総武線水道橋駅徒歩約10分

登 壇 安倍晋三総理大臣(要請中)、加藤勝信拉致問題担当大臣

家族会、救う会役員、拉致議連役員、北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会代表、

拉致問題地方議会全国協議会代表、各党代表、特定失踪者問題調査会役員と同家族

参加費 無料(会場カンパ歓迎)

※午後6時以降の来館をお願いいたします。



平成27年9月国民大集会

「特別調査委員会」解体に抗議する家族会・救う会声明

平成 28 年 2 月 12 日

北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表 **飯塚繁雄**

北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会会長 **西岡 力**

本日、北朝鮮は、いわゆる「特別調査委員会」を解体すると発表した。これは、金正恩政権が多くの拉致被害者を今現在も不法に抑留し続けながら、問題解決のための努力を一切しないとの意思を表明したもので、強く抗議する。

そもそも「特別調査委員会」なるものは、全ての被害者を返すための形式であってそれ自体ほとんど意味がないものだった。なぜなら、北朝鮮当局が厳格に管理している拉致被害者について調査など必要ないからだ。問題の本質は彼らが全員を返すという決断をするかどうかだった。しかし、これまでその決断がなされず、時間稼ぎばかりが続いた。

私たちはすでに 2 月 10 日の声明で「ストックホルム合意による交渉は、被害者を取り戻すための実質的な内容に踏み込めていないように見えていた。今回の強い制裁実施を背景にして、新しく実質的な交渉を持ち、1 日でも早い全被害者の救出を実現して欲しい」と政府に求めていた。したがって、実質的に意味のない特別調査委員会の解体について、一喜一憂をするものではない。

安倍晋三総理はこの間繰り返して「北朝鮮に拉致問題を解決しなければその未来を描くことが困難だと認識させなければならない」と言明してきた。その立場からぶれる必要はない。いまこそ、制裁強化と国際連携でより強い圧力をかけるべきときだ。

政府は 10 日に発表した制裁を早急に実行するとともに、厳格な法執行をより強化するなど国内でかけられる圧力を最大限に高めて欲しい。合わせて、国連安保理事会での制裁をより強力なものとし、制裁理由に拉致問題を明記するように一層の外交努力をすることを強く求める。国会は北朝鮮の核ミサイル開発を支援し、韓国へのスパイ基地の役割を果たしてきた朝鮮総連の活動を厳しく取り締まることができる新法制定を積極的に検討して欲しい。

4/9 国民大集会

主催 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（代表 飯塚繁雄）
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（会長 西岡 力）
北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟（会長 平沼赳夫）
北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会（会長 上田清司）
拉致問題地方議会全国協議会（会長 松田良昭）

事務局 救う会 〒112-0013 東京都文京区音羽 1-17-11-905
電話 03-3946-5780 F A X 03-3946-5784 担当=平田隆太郎
info@sukuukai.jp <http://www.sukuukai.jp>（署名用紙・ちらしのダウンロード可）

募金先 郵便振替口座 00100-4-14701 「救う会」 / ゆうちょ銀行 店名 019 当座 0014701
みずほ銀行池袋支店（普）5620780 救う会 事務局長 平田 隆太郎（ヒヲリウカウ）

**安倍首相に全員救出実現を
求める、はがき・メールを！**

〒100-8968 千代田区永田町2-3-1 内閣総理大臣 安倍晋三殿
首相官邸のホームページ=<http://www.kantei.go.jp/>の「ご意見募集」利用